

家庭科学習指導案

6年3組 南 千里

1. 単元名 『 未来を生きる〇〇な消費者になろう ～トラブルが起こってしまったら～ 』

2. 研究主題との関連

自分の生活を見つめ直す事から、より良い生活を創りだそうとする子どもの育成

(1) 題材について

現代の消費生活は複雑さを増し、様々な手口で消費者をだます悪徳商法や携帯電話等の使用トラブル、ネット販売でのトラブルなどが後を絶たない。そのような現状の中で、これからの消費社会を担う児童は、消費問題に関する基本的な知識を習得し、消費者として主体的に行動できるようになることが不可欠となる。

児童は、5年生では「修学旅行に持っていくおかしを選ぼう」という題材の中で、商品を選ぶ条件を整理したり、6年生の「お小遣いが必要かどうか話し合おう」「修学旅行のお小遣いの計画を立てよう」では金銭の重要性を話し合ったり、実際に使う活動を通して、必要な知識を身につけてきた。しかし、トラブルを回避するという学習は経験がなく、「いざとなったらお父さんやお母さんに頼ればいい」「警察に行けばなんとかなる」と安易に人任せにしようという考えの児童が多い。また、自身が巻き込まれた経験がないので「トラブルに巻き込まれるのは、油断していた一部の人だけ」「自分たちには関係のないこと」と考える児童も少なからず存在する。本題材では、そのような児童に身近な例を用いて問題を解決していく場を設定していく。児童にとって消費者問題は遠い事柄ではなく、明日巻き込まれてもおかしくない事柄であり、今の自分の知識だけで解決できるのか、防ぐことができるのかという当事者としての問題意識をもってもらいたいと思う。本題材を通して、児童一人ひとりが、責任ある消費者として、主体的に考え判断できる力を養っていただければと思う。

(2) 題材の目標

関心・意欲・態度	自分の生活を振り返り、消費者トラブルについて関心をもって課題に取り組もうとしている。
創造・工夫	課題を解決するために主体的に考え、工夫している。
技能	課題を解決するための具体的な方法を考えることができる。
知識・理解	自立した消費者として、安全な消費生活を送るために必要な知識を理解している。

未来そうぞう科との関連…批判的思考力をやしなう問題解決型の学習を取り入れることにより、主体的実践力の育成に寄与できる。また、生活経験の違いを生かすことで、友だちの話を聞く必然性ができるため、協働的実践力の育成にも寄与できると思われる。

(3) 活動構成の仮説

①主体的実践力を育むための「自分事」と捉えられるような題材設定

児童に「これまでどんなトラブルに巻き込まれたことがある?」「お家の人が困っていた経験は?」と問うと様々な問題が挙げられた。つきつめて話し合っていくと、「実物を見ることができなかった」ということが問題を引き起こしているようであった。そこで、3者間、4者間となってしまうネット販売ではなく、児童にとっては身近でネット販売に近い状況の問題がおこる「デリバリー販売」を題材として取り上げたいと思う。お寿司やピザ、どんぶりなどを家に注文した経験はどの児童も持っている。どの児童も想像することのできる状況を題材とすることで、「自分事」として消費問題を考えていくことができるのではないかと思う。

②学習を深め、広げることのできる視点が転換する場面の設定

消費者の立場は、そのまま自分の立場であり、児童にとっても考えやすい。しかし、販売者の立場となつてはどうであろうか。年末には、「予約していたお客が連絡もなく、店を訪れなかった」という問題が相次いで起こり、社会問題となっていた。「良い消費者」というのはともすれば「お買い得にもの買える消費者」と思いがちである。しかし、真に「良い消費者」は販売者にとっても、信頼できる消費者であり、そのような関係が築けることが今後の消費生活を続けるにあたっても非常に重要になるのではないと思われる。

そこで、この題材では、販売者としての課題も考えることとしたい。その中で、どちらにとっても「賢い消費生活」とは何かということまで学習が深まることを期待したい。

3. 指導計画 (全4時間)

	学習内容・子どもの意識の流れ	教師の働きかけ	評価規準			
1, 消費生活について何だろう①	<p>これまでの家庭科の学習をふりかえろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活にかかわることが多かったね。 買い物やエコクッキングもしたね。 <p>消費者問題ってなんだろう。契約ってなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全にかかわることかな。 ゴミ問題も入るのかな。 詐欺に合ったり、商品を買うときに問題が起こったりすることじゃないかな。 年明けにもニュースになっていたよ。 そもそも契約って何かな。 	<p>◎これまでの学習経験を振り返ることができるような資料を提示する。</p> <p>◎契約を楽しく理解できるようなクイズを提示する。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>○これまでの学びを生かして、消費者問題について考えようとしている。</p>	<p>【創意工夫】</p>	<p>【技能】</p>	<p>【知識理解】</p>
2, ともだちの生き生きとした生活のなかで消費者になろう③	<p>消費者トラブルについて考えよう。</p> <p>広告に書かれていることを読み取ろう!</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告を見ているといろいろなことがわかるよ。 商品の写真を見ていると買いたくなってくるな。 広告にどんなことが書かれているか表に整理するとわかりやすいね。 広告だけではわからないことがあるよ。 <p>もしトラブルに巻き込まれたら。消費者編 (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> これは詐欺なのかな。どうなんだろう。 こういうことはあるよね。 私は詐欺だと思わないな。みんなの意見も聞いてみたいよ。 <p>もしトラブルに巻き込まれたら。販売者編 (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> こんなことをされたら、お店がつぶれてしまうよ。 困ったな。でもお客様だから強くは言えないな。 そうしたらいいのかな。実際にお店の人の話が聞きたいな。 <p>消費者トラブルにあわないためにはどうしたらいいかな。</p> <p>学習をふりかえって、まとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品を手にとれない場合は、どんなことを知っておくといいのかな。まとめよう。 もしもトラブルにあったらどうしたらいいか整理しておきたいな。 <p>消費者の権利と責任について知っておこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物をする人にも責任があるんだね。 疑問に思ったらそのままにしておいたらダメなんだね。 環境に配慮する責任があるなんて知らなかった。 <p>自分はこれからどんな消費者になりたいかな。</p> <p>○〇に当てはまる言葉を入れて説明しよう。</p>	<p>◎トラブル事例にあげているピザに関する広告を準備しておく。</p> <p>◎なぜそう考えたのか、根拠を書くよう促す。</p> <p>◎自分の考えを友達に伝えたり、友達のことを聞く場を設ける。</p> <p>◎児童の意見をまとめてチェック表がつけられるようにしておく。</p> <p>◎難しい言葉については意味が変わらない程度に簡単に言い換えるようにしておく。</p>	<p>○消費者トラブルを自分事と捉え関心を持っている。</p> <p>○友だちに自分の考えを伝えようとしている。</p> <p>○自分が当事者になった場合を想定して考えようとしている。</p>	<p>○トラブルの解決法を考えたり工夫したりしている。</p> <p>●友だちの意見を自分の考えと比べて聞いている。</p> <p>○自分なりに学んだことを工夫してまとめていく。</p>	<p>○広告に書かれた情報を正確に読み取っている。</p> <p>○トラブルを解決するための具体的な方法を考えている。</p> <p>○トラブルを回避するための方法を具体的に考えている。</p> <p>○トラブルの解決や判断に必要な知識を理解している。</p>	